



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

兵庫県社会福祉法人経営者協議会 令和6年度事業報告

I. 全体総括

国は「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会を設置し、人口減少や労働力不足に伴うサービス需要の変化に対応するため、事業展開や再編の検討を進めています。この大きな転換期において、今後は地域ニーズに即したサービスモデルの構築やテクノロジーの活用が一層求められると予想されます。こうした状況の中、経営協としては、地域における福祉サービスの基盤を守り、地域全体の幸福度を高める使命と役割を果たすため、人材確保対策を含む経営基盤強化を図るとともに、支援策の充実を行政や社会に強く求めていかなければなりません。

兵庫県経営協は、法人の経営力強化を目的に令和4年度から経営強化検討委員会を設置し、「財務」「ガバナンス」「人事労務」の3つのテーマで検討・協議を重ねてきました。令和6年度は、「人材」に焦点を当てた調査研究とセミナーを実施しました

調査研究では、人材に関する会員法人へのアンケート・インタビュー調査を実施しました。「採用」「育成」「定着」における課題と対応策を「人材戦略最前線」(人事労務編報告書)としてまとめました。

また、「法人経営トップセミナー」では、「福祉“人財”の活躍を支える法人経営」をテーマとし、法人職員が生き生きと活躍できる環境づくりや、職員の自己実現支援が、人材育成のみならず、地域の安定したサービス提供と安心につながることを共有しました。

さらに、地域における公益的取組みについては、県社協と協働して「ほっとかへんネット」の推進を強化しました。「ほっとかへんネット」設立10年を機に、地域連携を強化するための各種事業に着手しました。

令和6年度の事業・活動について、重点目標に沿って報告します。

Ⅱ. 重点目標

A

会員法人の経営力向上への支援を行う

B

社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

C

福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題
に向けた支援をする

D

経営協活動の充実に向けた経営基盤の強化



Ⅲ. 事業

1 研修の実施

2 法人経営支援

3 調査研究

4 情報活動

5 組織運営

以下、事業の柱ごとに該当する重点目標を付記して報告します。

Ⅲ. 事業

1 研修の実施

- 『ガバナンス編』報告書、「ガバナンスの基本～幸福追求型の福祉をめざして～」を活用したセミナー(7月例会)を開催しました。“あるべき論”にとどまらない、実践的なガバナンス確保の方策や、社会福祉法人に期待されるガバナンスと果たすべき使命について、報告書を解説しながら発信しました。
- 福祉“人財”の活躍を支える法人経営をテーマに「法人経営トップセミナー」を開催しました。“自己中心的バイアス”等のリーダー論や能登の“創造的復興”、利用者、職員、地域住民が“ごちゃまぜ”になる実践が報告された他、統計に基づくZ世代の特徴や労働供給制約社会について学びました。職員の自己実現を支える経営が、人材育成のみならず地域とともにある法人として重要であることを確認しました。
- 日本公認会計士協会兵庫会と共催により『社会福祉法人のための財務セミナー』を開催しました。次年度以降も『経営協ドック』の体験型セミナーによるツールの普及を進めるとともに、法人への個別支援を推進する予定です。

Ⅲ. 事業

④会員法人の経営力向上への支援を行う
⑤社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実にに向けた組織基盤強化

1 研修の実施

1. 7月例会の開催

A B C

『地域の幸福を支える法人経営～社会福祉法人経営者が語るガバナンスの基本～』

開催日 : 令和6年7月19日 / 開催形式: 神戸クリスタルタワー クリスタルホール+オンライン
参加者 : 129名

基調講演

『社会福祉法人におけるガバナンスとは』

〔講師〕兵庫県経営協 経営強化検討委員会 委員(弁護士)
中井 俊輔 氏



パネルディスカッション

『ガバナンス強化による社会福祉法人の 未来利用者と法人を守る道とは』

〔登壇者〕兵庫県経営協 経営強化検討委員会委員

高齢: 神戸福生会 理事長 大和田 理紗 氏

障害: 祉友会 理事長 柴田 健吾 氏

保育: 勝原福社会 常務理事 梅野 高明 氏

〔コメンテーター〕 中井 俊輔 氏

〔進行〕 兵庫県経営協会 会長 谷村 誠 氏



Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

1 研修の実施

2. 法人経営トップセミナーの開催 **A B C** 『福祉“人財”の活躍を支える法人経営』

開催日 : 令和6年12月20日 / 開催形式: マーカスクエア神戸 + オンライン
参加者 : 78名

基調講演Ⅰ

『幸福追求型の社会福祉法人経営-共生のまちづくりへの挑戦』

〔講師〕社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成 氏

基調講演Ⅱ

『人口減少時代における人財活躍社会の道筋』

〔講師〕NHK放送文化研究所 世論調査部 部長 熊田 佳代子 氏

パネル討議

『福祉“人財”の活躍を支える法人経営 -幸福追求型の社会福祉法人を目指して-』

〔登壇者〕石田 文徳 氏(全国経営協 人材確保対策委員会委員長／
兵庫県経営協 副会長)

雄谷 良成 氏(社会福祉法人佛子園 理事長)

熊田 佳代子 氏(NHK放送文化研究所 世論調査部 部長)

〔進行〕澤村 安由里 氏(兵庫県経営協 副会長)



Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

1 研修の実施

3. 10月例会/都道府県セミナー(前期)

A B

『はて？ 令和のいま考える社会福祉法人の公益性』

開催日 : 令和6年9月24日 / 開催形式: 神戸クリスタルタワー クリスタルホール+オンライン
参加者 : 89名

講義Ⅰ

『はて？ 令和のいま考える社会福祉法人の公益性』

〔講師〕全国経営協 副会長(制度・政策委員会 担当副会長)

社会福祉法人恵の園 理事長 山田 雅人 氏

1. 社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組
2. 令和6年度報酬改定の評価と全国経営協の取組 など

全国青年会

『全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～』

動画: 全国社会福祉法人経営者協議会青年会会長

○各委員会の活動を動画で紹介

講義Ⅱ

『これでスッキリ！テクノロジー等の活用と社会福祉法人経営』

〔講師〕全国経営協 ふくしDX推進特別委員会 委員長

社会福祉法人こうほうえん 理事長 廣江 晃 氏

説明

『兵庫県における生産性向上に向けたICT導入の支援方策』

登壇者: 兵庫県立福祉のまちづくり研究所

ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター 野上 雅子 氏⁷

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

1 研修の実施

4. 都道府県セミナー(後期)の開催 **B** **C**

『協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！』

開催日 : 令和7年1月24日 / 開催形式: 神戸クリスタルタワー クリスタルホール+オンライン
参加者 : 51名

講義Ⅰ

『協働化も大規模化も社会福祉法人が決める！』

〔講師〕全国経営協制度・政策委員会 委員長

社会福祉法人堺暁福社会 理事長 宮田 裕司 氏

- ✓社会福祉法人の協働化・大規模化(社会福祉連携推進法人、事業譲渡等)
- ✓未来志向の事業展開と中長期計画策定のポイント
- ✓合併・事業譲渡をとりまく留意点(手数料、退職慰労金等)
- ✓すべての福祉従事者の賃上げのための全国経営協の取組

全国青年会

『SGWCサミット2024ダイジェスト動画』

講義Ⅱ

『災害に負けない！全国経営協の災害支援の考え方と取組』

〔講師〕: 全国社会福祉協議会 副部長 蓮子 輝之 氏

- ✓能登半島地震における社会福祉法人の事業継続
- ✓地域とともにという視点に立ったBCP・BCM
- ✓平時の取組みが問われる！法人・福祉施設を生き残らせるためには
- ✓これまでの災害を踏まえた、災害に負けないBCP策定のポイントや種別協連携による災害支援体制の構築等

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

1 研修の実施

5. 社会福祉法人のための財務セミナーの開催 A 経営協開発ツール『経営協ドック』を活用した財務分析と経営強化

開催日 : 令和7年1月31日 / 開催形式: 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
参加者 : 64名

テーマ①

行政報告

〔講 師〕兵庫県福祉部総務課 法人指導官 三木 水奈子 氏

テーマ②

「経営協ドック」が目指すもの

〔講 師〕全国社会福祉法人経営者協議会

制度・政策委員会、経営強化委員会、経営分析・改善支援チーム 柏瀬 善彦 氏

テーマ③

「社会福祉法人の経営改善と公認会計士による専門家支援について」

〔登壇者〕社会福祉法人三翠会 理事 統括施設長

前川 嘉彦 氏

社会福祉法人みかり会 理事長補佐

堤 正典 氏

日本公認会計士協会兵庫会 会員・公認会計士

岡村 新平 氏

日本公認会計士協会兵庫会 会員・公認会計士

花崎 敏 氏

〔進行役〕日本公認会計士協会兵庫会 非営利法人委員長

森山 恭太 氏

ワーク ショップ

「経営協ドック」を体験

〔進行役〕全国社会福祉法人経営者協議会

制度・政策委員会、経営強化委員会、経営分析・改善支援チーム 柏瀬 善彦 氏

- ・『経営協ドック』の分析ツールの解説と使用方法を学ぶ
- ・福祉医療機構の決算書ファイル(Excel)を取込み・分析
- ・分析結果に基づく経営課題についてディスカッション

2 法人経営支援

- ほっとかへんネットが誕生してから10年が経過しました。立ち上げ支援から活動支援へシフトし、新たな活動の創出や法人間のネットワークを超えた、地域の関係機関との連携強化を後押しするを目的に、「ほっとかへんネット課題対応プロジェクト助成」(県社協実施)を開始しました。
- また、ほっとかへんネットの実務者レベルの交流機会として「ほっとかへんネット実践交流会」を実施し、取組みの活性化を図りました。第1回目は、「災害福祉救援」をテーマに実践発表、意見交換を行いました。第2回目は、「各地の実践や工夫の情報交換」をテーマに、実践報告や情報交換を行いました。
- ほっとかへんネット未設置の地域に出向き、勉強会等の立上げ支援に関わり、令和6年度は三木市、香美町、市川町の3市町にて新たに設置されました。
令和7年4月に、淡路市、神河町でも設置され、県内すべての市区町(100%)で設置されました。

2 法人経営支援

1. ほっとかナイト認定制度 **B** **C**

- ①地域の多様な主体と連携・協働することによる、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を一層推進する（＝ソーシャルワーク推進のインセンティブにする）
- ②支援を要する地域住民と社会福祉法人をつなぐための取組の“見える化”

これらを目的として、「ほっとかナイト認定制度」の実施に向けた協議を県と進めました。

地域共生社会の実現

- ◆一人ひとりの違いを認めて生かしあえる地域社会
- ◆既存制度では対応できない地域ニーズへのきめ細かな対応



- ①地域の多様な主体と連携・協働することによる地域における公益的な取組の促進
- ②支援を要する地域住民と社会福祉法人をつなぐための「見える化」

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

2. 地域公益活動の推進 **B** **C**

1) ほっとかへんネット代表者等連絡会

開催日 : 令和6年7月25日 / 会場 : 県立のじぎく会館 大ホール
参加者 : 66名

開会挨拶

兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会
兵庫県福祉部地域福祉課

代表 澤村 安由里 氏
課長 小田 直樹 氏

報 告

「ほっとかへんネットを取り巻く動向とこれからの活動～ガイドブックより～」
兵庫県社会福祉協議会
福祉事業部長 荻田 藍子

意見交換①

「各ほっとかへんネット活動の工夫・取組み」

※立上げ準備中の市町も参加

[進行]兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会
[まとめ]武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科

代表 澤村 安由里 氏
教授 松端 克文 氏

意見交換②

「ほっとかへんネット活動QA」

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

2. 地域公益活動の推進 **B** **C**

2) 第1回 ほっとかへんネット実践交流会

～能登半島地震の災害支援から経験の共有と
今後の活動のありかた・ネットワークの構築を考える～

開催日 : 令和6年8月23日 / 会場 : 兵庫県福祉人材研修センター
参加者 : 65名

基調報告

「能登半島地震に対する兵庫県の災害救援の実態と課題」
兵庫県福祉部地域福祉課 地域福祉班 班長 沖本 孝史 氏

基調講義

「能登半島地震における社会福祉法人による救援活動の実態とその課題について」
佛教大学 専任講師 後藤 至功 氏

実践リレー発表

「1.5次避難所への介護職員等派遣から」
「兵庫DWATから」

大慈厚生事業会
淡路島福祉会
兵庫県地域福祉課
もみじ会
新温泉町社協事務局

谷 絵美 氏
新谷 忠史 氏
相良 弥生 氏
大西 智之 氏
平澤 佐知子 氏

「種別協の施設派遣から」
「ほっとかへんネットから」

グループワーク

「連携を生かした支援のありかたを考える」

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

2. 地域公益活動の推進 **B** **C**

3) 第2回 ほっとかへんネット実践交流会

現場発！つながりから生まれる新たな挑戦～ほっとかへんネット実務者の実践から考える～

開催日：令和7年3月10日 / 会場：県立のじぎく会館 大ホール
参加者：61名

基調講義

「ほっとかへんネットの県内の状況と今後の展開に向けて」
兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会 代表 澤村 安由里 氏

実践報告

『社会福祉法人の種別を超えたつながりをつくることで
地域での様々な課題に柔軟に対応できる地域をつくる』
ほっとかへんネット宝塚 代表 安田 慶 氏

『「ほっとかへんネットあしや」活動報告～こどもの居場所「ほっと屋」～』
ほっとかへんネットあしや 実務者会リーダー 土肥 拓路 氏

情報交換 意見交換

「我が町のほっとかへんネットはここにチカラを入れている」
「令和7年度に取組もうとしている内容」

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

2. 地域公益活動の推進 **B** **C**

4) 兵庫県と兵庫県経営協との協定に基づく、 課題を抱える妊産婦等の就労等支援について

課題を抱える妊産婦等の自立に向け、就労先として社会福祉施設を確保し、
こうした課題に対し就労や生活課題への支援に連携して取り組んでいます。
相談機関である「小さな命のドア」と相談支援から就労先の調整方法など、
支援スキームについて調整を行いました。



令和6年度末時点の登録数

〔法人〕	30法人
〔事業所〕	220事業所

令和4年3月11日:協定締結

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

3. 災害時支援体制の整備に向けた取組み **B** **C**

1) 兵庫県DWATの整備に向けた取り組み

全国的に整備が進められる**災害派遣福祉チーム(DWAT)**について、兵庫県では市町域を単位として支援体制を整備する方針を掲げ、**社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)**による展開を進めています。

①兵庫DWAT養成(応用)研修(兵庫県・兵庫県社協との三者共催)

『実践からおさえるDWAT の使命と役割～能登半島への派遣より～』

開催日 : 令和6年9月2日 / 対象: DWAT登録者(南あわじ市・洲本市)
会場 : 南あわじ市賀集地区公民館 2階 参加者 : 38名

報告

『兵庫DWATの活動の実際』

[登壇] 兵庫DWAT登録員 平本 万洋氏(洲本市社協)、新谷 忠史氏(淡島福祉会)

講義

『被災地主体の支援活動とDWATの役割』

[講師] 静岡DWAT 長泉町社協 地域福祉活動部門 主任 渡邊 麻由 氏

演習ワーク

『こんな場合、DWATとして何を考える? どう動く?』

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

3. 災害時支援体制の整備に向けた取組み **B** **C**

②兵庫DWAT基礎・養成研修(兵庫県・兵庫県社協との三者共催)

≪基礎研修≫ オンライン配信

≪養成研修≫

開催日 : 令和6年11月9日 / 会場 : 相生市総合福祉会館 301研修室 参加者 : 34名

開催日 : 令和6年11月30日 / 会場 : 南あわじ市賀集地区公民館 2階 参加者 : 24名

基調講義

「災害派遣福祉チームの活動について考える」

[講師] 華頂短期大学 幼児教育学科長

教授 武田 康晴 氏

グループ ワーク①

『避難所における福祉ニーズを考える』

グループ ワーク②

『一般避難所での災害派遣福祉チームの活動』

[講師] 華頂短期大学 幼児教育学科長

教授 武田 康晴 氏

2 法人経営支援

3. 災害時支援体制の整備に向けた取組み **B** **C**

③兵庫DWATへの登録に向けた説明

○西宮市、豊岡市、丹波篠山市、朝来市のほっとかへんネットから、DWATに関する説明の要請を受け、兵庫県地域福祉課と兵庫県社協がDWATに関する説明を行いました。

あらたに相生市、丹波篠山市からの名簿登録があり、兵庫DWAT登録者数は、64施設 183名となりました。

○令和6年8月に開催された「第1回ほっとかへんネット実践交流会」において、兵庫県地域福祉課よりDWAT登録に関する説明を行い、ほっとかへんネット単位の登録をお願いするとともに、希望地域に出向き、個別説明を行うことを説明しました。

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

3. 災害時支援体制の整備に向けた取組み **B** **C**

2) 令和6年能登半島地震 災害救援に関する取組み

全国経営協支援活動「特別年会費」の募集

「災害により1法人もつぶさない」を合言葉に、全社協の災害福祉支援ネットワーク中央センター、施設関係種別協議会等と連携し、被災法人に対し、応援職員の派遣等の人的支援や物資提供等の物的支援などを行うための資金に充てることを目的として、会員法人へ「特別年会費」を募集しました。

1. 第2期:令和6年4月～7月末

2. 兵庫県からの特別年会費:11法人 460,000円

※第1期:令和6年2月～3月末 兵庫県から:66法人 2,680,000円、**計 77法人 3,140,000円**

3. 特別年会費の使途

①石川県内の会員法人への配分・・・20,000,000円(6月28日送金済)

②災害見舞金・・・8,850,000円(申請に基づき、見舞金対象法人に支給)

③被災地支援活動・・・10,625,000円(石川県社協支援チームの活動財源など)

2 法人経営支援

4. 社会福祉事業経営相談事業への運営協力 A (兵庫県社協との協働事業)

多様な経営課題の解決に向け、
県社協の社会福祉事業経営相談事業の運営に協力しました。

相談員 : 1名(週3回※月、水、金) 078-271-1230

専門相談員: 公認会計士 前原 啓二 氏(月1回)

相談件数 : 278件

	施設 運営	会計 税務	利用 処遇	職員 処遇	そ 他	合 計
保 育	7	32	0	2	0	41
児 童	0	1	0	0	0	1
老 人	6	28	1	3	0	38
知的	45	73	4	6	0	128
身 障	4	0	0	0	0	4
救 護	0	0	0	0	0	0
法人本部	0	0	0	0	0	0
社 協	11	28	0	2	0	41
その他	4	20	0	0	1	25
合 計	77	182	5	13	1	278

令和6年度の相談件数の内訳は左表のとおりです。
種別を問わず、会計処理に関する相談が多く寄せられています。
特に知的からは、理事会・評議員会の運営などガバナンスに関する相談も多く寄せられています。

2 法人経営支援

5. 経営分析・改善支援事業の実施に向けた検討 A C

日本公認会計士協会兵庫会と個別支援に関する協定を締結



① 「経営協ブック」で経営分析

② 分析の結果、経営悪化の状態

「自分たちだけではどうにもできない…」
「誰か社福の会計がわかる専門家はいないかな？」

③ 公認会計士協会から専門家を推薦

兵庫県経営協事務局へ相談してください



協定に基づき、社福の会計のわかる専門家を推薦

④ 専門家の個別支援

※専門家への相談費用は必要です。

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

6. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業) A

平成29年度に県社協と協働で作成した「社会福祉法人経営計画策定ワークブック」を活用し、経営計画の策定支援を行いました。

1) 経営計画普及セミナー（県社協と共催）

経営計画はじめての一步セミナー

～経営計画の基本機能・効果と策定法人の実践報告を通じた効果を学ぶ～

開催日 : 令和6年8月9日 / 会場: オンライン
参加者 : 24名

講義

「なぜ社会福祉法人には経営計画策定が必要なのか～次世代リーダーの育成に繋げる～」
〔講師〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

実践報告

「経営計画策定ワークブックを活用した経営計画策定経緯と
実際の取組みについて」
〔報告者〕 社会福祉法人ひまわり 特別養護老人ホームあさがお 施設長 波多野 崇 氏
社会福祉法人愛児会 幼保連携型認定こども園ほそだ 理事長 井塚 啓文 氏
〔解説・コーディネーター〕 兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 當間 克雄 氏

2 法人経営支援

6. 経営計画の策定支援(県社協との協働事業) **A**

2) 経営計画策定リーダー養成ゼミナール（全5回／青年協主催）

社会福祉法人の経営計画の策定支援を行うリーダー養成のために開催しました。

〔講師〕兵庫県立大学 社会科学部 経営専門職専攻 教授 富間 克雄 氏

日程

- 9月17日（第1回）
- 10月18日（第2回）
- 11月22日（第3回）
- 12月17日（第4回）
- 2月13日（第5回）

参加者: 7法人 27名

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実に向けた組織基盤強化

2 法人経営支援

7. 福祉の就職総合フェアの協力 A C

1) 福祉の就職総合フェア（県社協へ協力）

福祉人材の確保・定着に向けて、兵庫県社協が主催する福祉の就職総合フェアへ協力しました。

第1回

- ・開催日 令和6年7月20日
- ・出展法人 125法人
- ・参加者数 141名

第2回

- ・開催日 令和7年3月15日
- ・出展法人 112法人
- ・参加者数 181名

2) 魅力発信コーナーの運営（青年協 協力）

今から就活を考える大学1～2年生や高校1～2年生を対象に、高齢、障害、保育、児童の施設で働く若手職員（5年目までの職員）と交流する、「学生と若手職員との交流イベント」を青年協が協力し開催しました。職場の雰囲気や職場選びのポイントなど、働くうえでのイメージを膨らませる時間となりました。

参加者：18名



Ⅲ. 事業

3 調査研究

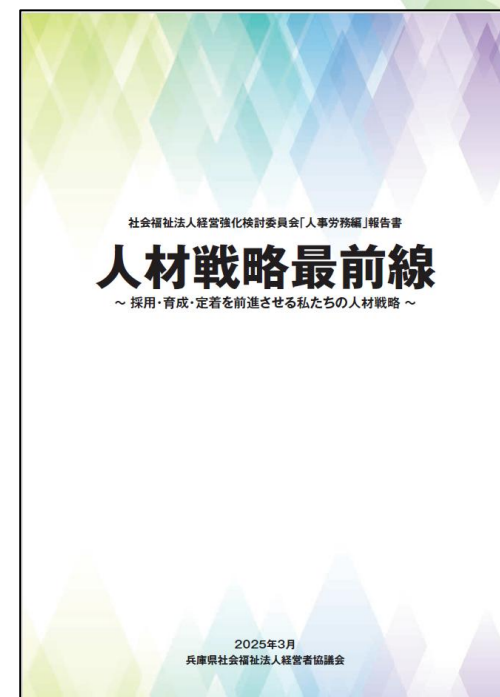
- 社会福祉法人経営強化検討委員会における、『人事労務編』について検討・協議を重ね、報告書『人材戦略最前線～採用・育成・定着を前進させる私たちの人材戦略～』を発行しました。この報告書では、会員法人によるアンケートの回答に基づき、人材の採用・育成・定着に関する取組みのポイントと具体策を盛り込むとともに、経営協等の役員法人へのインタビュー調査を取りまとめています。令和7年度は、この報告書を活用したセミナーを7月例会(7/24)で実施する予定です。
- 社会福祉法人経営に関する意見交換会を開催し、県内の赤字経営に苦しむ法人の実態を共有するとともに、経営改善に向けた所轄庁の支援策について意見を交わしました。また、指導監査の関わりから見える労働環境や組織体制の改善策について意見交換を行いました。

3 調査研究

1. 経営強化検討委員会 調査研究・検討 A C

1) 『人事労務編』報告書 発行

- 経営強化検討委員会では、「人事労務編」について協議・検討をおこないました。8月に会員向けアンケート調査、9月～11月にかけて経営協等の役員法人へインタビュー調査を実施しました。
- 調査結果を踏まえ、法人が抱える「人材に関する課題」を明らかにし、現場の実情に即して取組みポイントをまとめ、他法人の実践事例などを盛り込んだ報告書を発行しました。
- 社会福祉法人の使命・役割を踏まえた人材戦略に資する考え方や取組みのヒントを提示しています。是非、ご活用ください。



令和7年7月24日(木) 人材戦略最前線をテーマにしたセミナーを開催予定

3 調査研究

1. 経営強化検討委員会 調査研究・検討 A C

2) 経営強化検討委員会の開催

- 第17回 令和6年4月9日（参加者:21名）**
 - (1)『人事・労務編』の検討のねらいとスケジュール(案)
 - (2)社会福祉法人の人事・労務管理にかかる実態調査(案)
- 第18回 令和6年7月9日（参加者:21名）**
 - (1)前回委員会を踏まえた今後の進め方・スケジュール
 - (2)「人事・労務編」 県経営協役員法人へのインタビュー調査について
 - (3)『人事・労務管理にかかる実態調査(案)』について
- 第19回 令和6年10月8日（参加者:13名）**
 - (1)『人事労務編』報告書の骨子について
 - (2)人事労務編インタビュー調査及びアンケート調査の考察について
- 第20回 令和7年1月9日（参加者:20名）**
 - (1)『人事労務編報告書』の素案について
 - (2)今後のスケジュールについて

3 調査研究

2. 指導監査を行う所轄庁との意見交換会の開催 A

「県内法人の『人事労務』に関する情報交換」

「指導監査から見える社会福祉法人の経営課題について」

をテーマに、兵庫県、神戸市、姫路市の行政担当者と意見交換会を開催しました。
令和6年度は、社会福祉法人経営強化検討委員会における「人事労務編報告書案」に基づき、行政担当者からの意見を徴するとともに、指導監査から見える法人の経営課題、
ついて行政担当者との共有を図りました。

開催日 : 令和7年1月9日

会場 : 兵庫県福祉センター 多目的ホール

参加者 : 29名(うち行政関係者5名)

3 調査研究

3. 社会福祉法人経営等に関する要望・政策提言 **A B C**

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、報酬改定に向けて法人経営の実態を積極的に発信しました。

1) 賃上げ・物価高騰対策への緊急要望〈全国経営協との共同要望〉

社会福祉法人が、地域の福祉を守り抜くうえで、全産業と遜色ない水準までの賃金改善と物価高騰への対策が喫緊の課題であることから、早急な財政支援を含む必要な措置を講じるよう、厚生労働省、国会議員、地方議員、自治体等へ提言・要望を行いました。

令和6年9月～11月

提言内容

- 1.全産業と遜色ない水準までの早急な処遇改善と
次期改定を待つことない報酬の引上げ
- 2.物価高騰に対する継続的な財政支援
- 3.災害法制への「福祉」の位置づけ

3 調査研究

3. 社会福祉法人経営等に関する要望・政策提言

令和6年9月～11月

賃上げ・物価高騰対策 要望先	・県福祉関係部幹部職員(9/3)説明・提言手交
	・自由民主党政務調査会長(9/6)説明・提言手交
	・自由民主党兵庫県議員団(9/6)説明・提言手交
	・兵庫県知事(9/12)説明・提言手交
	・県民連合議員団(9/13)説明・提言手交
	・県議会議長・副議長(9/25)説明・提言手交
	・公明党議員団(9/25)説明・提言手交
	【その他、兵庫県選出国會議員16名への訪問・説明等】

3 調査研究

3. 社会福祉法人経営等に関する要望・政策提言 **A B C**

2) 重点支援地方交付金の追加支給に伴う緊急要望〈全国経営協との共同要望〉

- 11月「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」の閣議決定を受け、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)の予算措置されました。
- 財源が地方交付税措置であるため、各市区町が予算確保や補助実施に向けた対応が課題となっていました。
- この状況を受け、「兵庫県知事」と「神戸市長」宛に、予算確保および補助実施を求める緊急要望書を提出しました。

提言内容

社会福祉法人が、国民・地域住民の生活を守り、地域のセーフティネットの役割を果たしていくため、物価高騰対策として、社会福祉施設・事業所を対象に重点支援地方交付金による財政支援をお願いします。

3 調査研究

3. 社会福祉法人経営等に関する要望・政策提言



2) 兵庫県への政策提言活動

県内社会福祉制度の充実に向け、兵庫県への政策提言内容を理事会にて協議し、県社協の「社会福祉政策委員会」と連携した提言活動を行いました。

提言内容

(1)福祉・介護人材確保に向けた中期計画策定と県福祉人材センターの体制強化

- ①福祉・介護人材確保に向けた中長期の戦略策定
- ②福祉・介護事業者の知恵と工夫の集積とコンサルティング体制づくり

(2)物価高騰と賃上げに連動した処遇改善及び報酬改定

(3)兵庫県災害福祉広域支援ネットワークの機能発揮に向けた協議とルール化

(4)認定就労訓練事業所への支援の強化

- ①認定就労訓練事業の主管部局と商工労働部局との連携による認定事業所の拡大
- ②自立相談支援機関職員や自治体の就労支援担当者が相談者を認定事業所につなげるプロセス(フロー)の構築
- ③就労や社会参加につながった好事例の収集・発信

4 情報活動

1. 情報発信 A

会員法人の経営基盤強化のため、社会福祉制度動向等をタイムリーに情報提供するとともに、本会の活動・事業について積極的に発信しました。

1) 月刊「経営協」の配布

全国経営協発行の月刊「経営協」を会員に配布しました。(全国経営協より会員へ直送)

2) 「経営協情報」のメール配信

全国 経営協が随時作成する「経営協情報」を会員にメール配信しました。
また、各種研修や助成金等に関する情報を会員にメール配信しました。

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実にに向けた組織基盤強化

5 組織運営

1. 会員の拡大 **D**

1) 新規会員の加入促進

入会 : 9法人

退会 : 8法人

令和6年度末 会員法人数 **355**法人(+1法人)/県内712法人

加入率:49.9%

2) 青年協議会会員の加入促進

入会 : 4名

退会 : 0名

令和6年度末 会員数 **79**人

5 組織運営

2. 経営協 会議等 D

県内の社会福祉法人の経営基盤を強化するため、会員拡大に努めるとともに、総会・理事会・例会等の開催を通じて、本会の円滑な運営を図りました。

1) 第44回総会・記念講演会の開催

以下の議案が承認されました。

開催日：令和6年5月10日

会場：メリケンパークオリエンタルホテル

出席者：70法人

表決書：5法人

委任状：151法人

計：226法人

総会

- <議 事>
- | | |
|---------|----------------|
| [第1号議案] | 令和5年度事業報告(案) |
| [第2号議案] | 令和5年度決算(案) |
| [監査報告] | |
| [第3号議案] | 令和6年度事業計画(案) |
| [第4号議案] | 令和6年度予算(案) |
| [第5号議案] | 理事・監事の補充選任について |

記念講演会

「持続可能な社会づくりに向けた社会福祉と介護・保育基盤」

〔講師〕慶応義塾大学商学部 教授 権丈 善一 氏



5 組織運営

2. 経営協 会議等 D

2) 理事会の開催

●第276回理事会 令和6年4月19日（会場：兵庫県福祉センター 参加者：13名）

＜議事内容＞ 審議事項：入会について

- (1) 第44回総会・記念講演会の運営について
- (2) 令和5年度事業報告(案)・決算(案)について
- (3) 令和6年度事業計画(案)・予算(案)について
- (4) 次期役員改選について
- (5) 令和7年度兵庫県の社会福祉政策への提言について
- (6) 7月例会の企画(案)について
- (7) 「認定就労訓練事業」の登録促進について

●第277回理事会 令和6年7月19日（会場：神戸クリスタルタワー参加者：16名）

＜議事内容＞ 審議事項：入会について

- (1) 令和6年度7月例会について
- (2) 令和6年法人経営トップセミナーについて
- (3) ほっとかナイト認定制度について
- (4) 令和6年度10月例会・都道府県セミナー(前期)について

5 組織運営

2) 理事会の開催

●第278回理事会 令和6年10月25日（会場：兵庫県福祉センター参加者：13名）

<議事内容> 審議事項：入会について

- (1)賃上げ並びに物価高騰にかかる緊急要望について
- (2)令和6年度社会福祉法人経営に関する意見交換会について
- (3)経営協ドックを活用した経営支援方策について
- (4)DWATの現況と今後の展開について
- (5)ほっとかへんネット事業の実施状況と今後の事業展開について

●第279回理事会 令和7年1月24日（会場：神戸クリスタルタワー参加者：21名）

<議事内容> 審議事項：入会について

- (1)令和6年度の振り返りと令和7年度の重点事業について
- (2)第45回総会、記念講演会について
- (3)次期役員改選について
- (4)ほっとかへんネット推進事業について

Ⅲ. 事業

◎会員法人の経営力向上への支援を行う
◎社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実にに向けた組織基盤強化

5 組織運営

2. 経営協 会議等 D

3) 正副会長会議の開催

第1回 令和6年4月9日
第3回 令和6年10月8日

第2回 令和6年7月9日
第4回 令和7年1月9日

4) 青年協議会活動への支援

青年会全国大会(兵庫大会)の開催

～つながる～誰もが大切な人と、明るい未来を創造できる社会へ

開催日 : 令和6年11月28日・29日
会場 : 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
参加者 : 436名 過去最大!



[登壇者] 神戸北野ホテル総支配人・総料理長
芦屋市長

山口 浩 氏
高島 峻輔 氏

「元なでしこジャパン」女子W杯優勝メンバー

GK:海堀 あゆみ 氏 MF:阪口 夢穂 氏 FW:大野 忍 氏



Ⅲ. 事業

④会員法人の経営力向上への支援を行う
⑤社会福祉法人による地域への貢献活動を推進する

◎福祉人材確保をはじめとする喫緊の課題に向けた支援をする
◎経営協活動の充実にに向けた組織基盤強化

5 組織運営

2. 経営協 会議等 D

5) 全国経営協との連携協力

全国経営協主催のブロック会議(近畿)に参画し、会員法人の経営課題や本会の問題意識について意見交換を行いました。

- 開催日 : 令和6年4月15日
- 会場 : ホテルグランヴィア京都
- 参加者 : 役員5名

5 組織運営

2. 経営協 会議等 D

6) 近畿経営協との連携協力

近畿社会福祉法人経営者協議会役員会・協議員総会等の会議に出席し、近畿社会福祉法人経営者協議会の運営に協力しました。

役員会

- 第1回 4月15日
- 第2回 6月18日
- 第3回 7月16日
- 第4回 10月15日
- 第5回 12月17日
- 第6回 1月21日
- 第7回 2月18日

協議員総会

- 第1回 7月16日
- 第2回 2月18日

近畿ブロックセミナー

11月20日



令和6年度事業報告は以上です。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人



令和6年度兵庫県社会福祉法人経営者協議会 決算

収入	34,883,544 円
支出	34,883,544 円
収支	0 円

<収入の部>

(単位：円)

科 目	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減 (b)-(a)	備 考
1 会費	27,245,000	27,175,000	△ 70,000	会費合計 360法人 ・大規模 (10億円超) 110,000円 × 95法人 ・一般 (2～10億円) 70,000円 × 202法人 ・小規模 (2億円未満) 35,000円 × 55法人 ・県のみ 25,000円 × 8法人 R6能登半島地震特別年会費 11法人 460,000円
2 交付金	5,933,000	6,001,000	68,000	全国経営協からの組織活動費 @17,000円×353法人
3 事業収入	95,000	45,000	△ 50,000	セミナー等非会員参加費
4 助成金収入	200,000	200,000	0	都道府県セミナー助成金×2回 200,000円
5 雑収入	1,000	43,504	42,504	預金利息等
6 財政調整積立金 取り崩し収入	1,000,000	1,000,000	0	
7 繰越金	419,000	419,040	40	
合 計	34,893,000	34,883,544	△ 9,456	

<支出の部>

(単位：円)

科 目	予算額 (a)	決算額 (b)	比較増減 (b)-(a)	備 考
1 運営費	4,774,000	4,734,522	△ 39,478	
(1) 事務費	630,000	597,703	△ 32,297	Zoomライセンス、パソコンリース代、郵便代、印刷機使用代等
(2) 事務局運営費	4,100,000	4,100,000	0	事務局運営負担金 正規職員1/2+嘱託職員1名分
(3) 連絡調整費	44,000	36,819	△ 7,181	慶弔費等
2 事業費	4,787,000	5,268,651	481,651	
(1) 会議費	1,451,000	1,599,598	148,598	総会、理事会、正副会長会議、全国経営協・近畿経営協会議等の関係経費
(2) 研修費	1,322,000	1,842,995	520,995	7月例会、都道府県セミナー（前期・後期）、法人経営トップセミナー、近畿ブロックセミナー、財務セミナー等の関係経費
(3) 調査研究費	1,279,000	1,376,039	97,039	経営強化検討委員会、行政との意見交換会、人事労務編報告書発行等の関係経費
(4) 法人活動支援費	435,000	150,019	△ 284,981	全国大会、災害支援、経営協ドック活用支援情報発信、ホームページの運用等
(5) 青年協活動費	300,000	300,000	0	青年協活動助成
3 分担金	23,810,000	23,770,000	△ 40,000	全国経営協会費 352法人分 ・大規模 (10億円超) 100,000円 × 96法人 ・一般 (2～10億円) 60,000円 × 201法人 ・小規模 (2億円未満) 30,000円 × 55法人 能登半島支援特別年会費 11法人 460,000円
4 予備費	1,522,000	0	△ 1,522,000	
5 繰越金	0	1,110,371	1,110,371	
合 計	34,893,000	34,883,544	△ 9,456	

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金	1,165,248	未払金	71,877
未収金	17,000	預り金	0
財政調整積立資産	2,001,012	財政調整積立金	2,001,012
		繰越金	1,110,371
合計	3,183,260	合計	3,183,260

財産目録
令和7年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・純財産の部	
科目	金額	科目	金額 (円)
預金 但馬銀行普通預金 (上筒井支店)	1,165,248	未払金	71,877
財政調整積立資産		預り金	0
但馬銀行普通預金 (上筒井支店)	2,001,012		
未収金	17,000	負債合計	71,877
資産合計	3,183,260	正味財産 (資産合計-負債合計)	3,111,383

未収金明細書
令和7年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
全国社会福祉法人経営者協議会	17,000	R6組織活動費 (@17,000円×1法人)
計	17,000	

未払金明細書
令和7年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
日本郵便 (株)	2,090	【事務費分】 3月分後納郵便代
日本郵便 (株)	43,120	【会議費分】 3月分後納郵便代
日本郵便 (株)	290	【法人活動支援費分】 3月分後納郵便代
リコージャパン (株)	1,359	【事務費分】 3月Microsoft 365利用料
兵庫県社会福祉協議会	25,018	【法人活動支援費分】 令和6年10月～令和7年3月車輛維持管理費
計	71,877	

預り金明細書
令和7年3月31日現在

(単位：円)

相手先	金額	内訳
-	0	
計	0	